

## 【ご案内】

こちらは、二千二十二年十一月に開催しましたシンポジウムについての読み上げテキストファイルです。このシンポジウムは、終了しております。以下は、開催案内となります。

この度、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム  
東京大学 職域・地域架橋型 価値に基づく支援者育成（TICPOC）は、  
第五回 公開シンポジウム を開催します。

※TICPOC とは、TI、 CP、 OCをつなぎあわせた造語です。

TI は、 Trauma-Informed Care（トラウマに配慮して支援できる）

CP は、Co-Production（当事者と共同創造できる）

OC は、Organizational Change（これらの実現のため組織の治療文化を変革できる）  
をあらわします。

本シンポジウムは、東京大学本郷キャンパスでの対面開催と、特設サイトにてオンデマンド配信の二通りの参加方法があります。

参加および視聴は無料、  
事前の申し込みが必要です。

東京大学本郷キャンパスでの開催についてです。

二千二十二年、十一月六日、日曜日、十三時十五分から十七時まで

東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

にて開催します。

特設サイトにてオンデマンド配信についてです。

配信期間は、二千二十二年、十一月十一日、金曜日、九時から、十一月二十五日、十七時です。

二千二十二年、十一月十一日、九時から、十一月二十五日、十七時の間、  
いつでもインターネット上でご覧いただけます。

※視覚障害のある方へ

事前に発表スライドを、読み上げできる PDF にてお送りいたします。

ご希望の方は、[symposium2022@camphor.jp](mailto:symposium2022@camphor.jp) にご連絡ください。

予定しているプログラムは、次の通りです。時間は目安です。

二千二十三年度 東京大学履修証明プログラム、ティックポック紹介、(十五分)  
笠井清登 (東京大学大学院医学系研究科 教授)

犯罪被害にあうということ、 支援者としてトラウマ体験にふれる、(三十五分)  
鶴田信子 (被害者支援都民センター 心理相談担当責任者)

医療過疎地域での被災地支援や自殺対策の実践を考える、 (三十五分)  
大塚耕太郎 (岩手医科大学神経精神科学講座 教授)

権利擁護と共同創造、 日々の生活に根付かせるには、(三十五分)  
山田悠平、(精神障害当事者会ポルケ 代表理事)

地域精神保健における権利擁護を考える、(四十分)  
藤井千代、(国立精神・神経医療研究センター 部長)

パネルディスカッション

申込方法についてです。

申込締切は 二千二十二年十月二十四日、月曜日 十七時までです。

シンポジウムに参加をご希望のかたは、次のフォームよりお申込ください。

後日、参加に関する守秘義務同意のご案内をお送りします。

申込だけではご視聴いただけません。

<https://forms.gle/PJwKNEB1NZV2zrjM7>

主催

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム事業

共催

東京大学大学院医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター  
文部科学省 学術変革領域 当事者化行動科学

本シンポジウムに関するお問い合わせ

[symposium2022@camphor.jp](mailto:symposium2022@camphor.jp)

TICPOC 公式サイト

<https://co-production-training.net/>

二千二十三年度 TICPOC 各コースの募集詳細は、ホームページで随時掲載の予定です。

● TICPOC プログラムに関するお問い合わせ

東京大学医学部附属病院 精神神経科 TICPOC 事務局

[utokyo.coproduction.training@gmail.com](mailto:utokyo.coproduction.training@gmail.com)

[https://twitter.com/TICPOC\\_UT](https://twitter.com/TICPOC_UT)